



■発行/櫻井しげる後援会 ■住所/315-0013 茨城県石岡市府中 3-11-28
■電話/0299-22-3881 ■FAX/0299-22-3881
■WEB <http://www.sakurai.click/> ■Mail sakurai@sakurai.click
■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3>

新年あけましておめでとうございます。本年も昨年に引き続き、よろしくお願ひいたします。

さて、酉年の今年は、一層の飛躍を目指して議員活動を行ってまいりたいと思います。そんな年明け早々から賀詞交歓会、出初式、成人式典、全員協議会、臨時議会が開催され、忙しい日々を過ごしております。今年秋には県知事選挙（9 月）、石岡市長選挙（10 月末）が予定される中、石岡市の平成 29 年度予算案（総額 546 億 1,423 万 4 千円）が第 1 回定例会に提案され、市民生活に直結する大事な予算を審議してまいります。どうか今年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

一、石岡市議会報告会を開催

活動報告第 6 号でも、議会報告会開催の速報をお伝えしたところですが、少々詳しく内容をご報告させていただきます。

(1) 議会の広報広聴機能を果たす議会報告会

議会改革推進特別委員会で約 1 年にわたる協議の末、平成 28 年 10 月 29 日と 11 月 12 日に議会報告会をふれあいの里と八郷総合支所で開催しました。市民の皆様から様々な意見を伺い、一方で市の現状を議会でもどのように議論しているのかについて、直接お知らせできる議会報告会は「議会の広報広聴機能」を果たす貴重な機会といえます。

(2) 議論された報告会の進め方

議会改革推進特別委員会では、最初に「誰が何を報告するのか」が議論となりました。議会の質問する立場から、市民の質問に回答する立場になります。また、議会報告会に当たっては、全議員が等しく役割と責任を担うようにしないと、関心のない議員は協力せず、議会全体で取り組むという本来の意味を失ってしまいます。

そこで、会場設営や配布資料の準備、報告会の運営は特別委員会委員が担当し、報告する内容は、総務、教育福祉環境、経済建設消防の 3 委員会がそれぞれにテーマを決めて説明報告を行う。その後の市民との意見交換会における答弁は、各常任委員会が対応することに決しました。

(3) 報告内容と意見交換会

総務委員会は、新庁舎建設事業について。教育福祉環境委員会は石岡中・城南中の統合再編について。経済建設消防委員会は消防本部事業についてを報告いたしました。

その後行われた意見交換会では、現在の石岡市議会の現状を憂える質問やご意見が出されました。

① 傍聴に行ったが、(傍聴席で)怒鳴り威嚇する人がいる。議会では対応できないなら警察の待機を。

② 市議会のテレビ中継を良くしてもらいたい。

③ 組合議事を傍聴したが、ある議員が怒鳴り、議長の静止も聞かない。是正してほしい。

④ 議員を非難する文書が投げこまれている。市民として非常に恥ずかしい。何とかならないか。

⑤ 小学生か中学生の議会を開いてほしい。

その他、様々なご意見ご質問が出されました。議会としても、健全な議会運営さらには議会議員のモラル向上が急務であることは多くの議員が認識しており、自浄作用を高める必要性を強く感じました。また、市民の皆様への高い関心と厳しい目が、今後さらに求められると思います。

(4) 議会報告会の反省点

議員活動の目標である議会報告会に、委員として関わり実現できましたが反省点もありました。

① この報告会に全く参加せず、議会・議員の資質向上さらには議会と市民の距離を近づけ、議会の存在意義を高める機会を自ら放棄した議員がいたことは残念でなりません。

② 参加いただいた市民が少なかった点について、参加しやすい日程と時間帯を検討すること。さらには開催案内の方法についても検討いたします。

③ 質問に対する回答が、議員個人の見解と思える部分があり、検討課題となりました。

次回報告会は秋の市長選挙以降が有力です。

※議会報告会の詳細については、石岡市議会ホームページに、報告書を掲載していますので是非ともご覧ください。または、議会事務局（八郷総合支所 4 階）でも閲覧できます。

一、第4回定例会で行った一般質問

(1) 電子決裁システムの導入について

市が事務事業を行う際の決裁は紙ベースで行われ、順番にハンコを押す方式となっております。膨大な数の決裁が日々庁舎内をめぐり、時間とコストをかけて押印がされています。そこで、電子決裁システムを導入し、決裁の流れを円滑にすることで、職員の負担を減らし、事務事業の迅速化を図るべきと考えます。

(1) 石岡市の文書による決裁がどのように行われているのか伺います。

総務部長答弁要旨 財務会計は年間約9万7千件の帳票がある。一般文書の件数は把握できていない。決裁日数は当日から1週間以上。決裁者は4名程度から複数部署にわたる場合は十数名。3年以上保管する文書は、倉庫保管のため、文書を取り出すには文書の特定と書庫を往復する時間が必要になる。決裁者別の文書量は把握できていない。

(2) 文書決裁の問題点把握について伺います。

総務部長答弁要旨 本庁と支所間の文書移動、文書目録等の作成、決裁が複数の部署にまたがる場合は決裁者が多くなり時間がかかる。発生した決裁文書を保管するスペースが必要になる。

再質問 国は、大量の文書を電子メールで送付してくるが印刷するのは市である。一方で、市はごみの減量が求められている。また、事務決裁規定では権限のない係員が決裁に押印しているが、根拠を伺う。

総務部長答弁要旨 事務決裁規定で課長以上が決裁するよう位置づけされているので、係員には権限がない。情報の共有という観点で押印している。

(3) 係内の情報共有は決裁の前提条件であり、供覧という仕組みを作るべき。問題点を改善できる電子決裁システムの導入について伺います。

総務部長答弁要旨 今年度、関係職員による電子決裁システムの勉強会を開催した。紙の使用量減少、本庁と支所・出先機関との移動経費削減、書庫スペースの減少等メリットを確認した一方で電子化が困難な文書の扱い、決裁ルートの整理など課題も出てきた。システム化したものは年次有給休暇があり、今年から夏季休暇も電子化した。

再質問 休暇システムは、もつと早く導入すべき。国県からの文書をネットワークで供覧できれば、年間数百万円のコピー代が削減できる。職員の勉強会では効果をどの程度見込んだのか伺います。

総務部長答弁要旨 紙の使用を年間約350万円抑えられる。システム導入経費は他市を参考にすると4百万円から2千万円と見込んでいる。

再質問 国は、電子決裁化が進んでいると伺っているが、市の総括情報セキュリティ責任者である副市長の見解を伺います。

副市長答弁 私が3月までいた総務省の電子決裁率は99.1%です。さらに先進的な部局はペーパーレスの打ち合わせを実践している。電子決裁が増えれば多くのメリットがあると考えられるが、内容を精査し業務の効率化を考えていきたい。

提言 職員が大幅に減った一方で、業務は増えています。電子決裁システムの導入に向けて、計画策定に入っていたきたい。

(2) マタニティ支援策の推進について

人口減少が進む中、子供を産み育てる環境の充実が求められています。石岡市も例外ではなく、妊婦の方々が安心して出産を迎えられるよう行政の積極的な取り組みについて伺います。

(1) タクシー会社への事前登録で、陣痛でも指定の病院に向かってくれる、マタニティ(陣痛)タクシー制度の導入について伺います。

保健福祉部長答弁 県内では日立市がタクシー代の助成を行っている。ほかに土浦市、つくば市、水戸市では民間会社がサービスを提供している。

市内は、関鉄ハイヤーと柿岡合同ハイヤーが陣痛時の利用も対応しており、今後、広報していく。

再質問 陣痛の際、乗車拒否にならないことはありがたいですが、マタニティタクシーというのは、妊婦の住所と産院を事前登録し、電話をすれば自宅から産院に運んでくれ、料金は後払いというものです。妊婦の不安を解消し、少子化対策にも有効ですので、タクシー会社に協力を依頼してほしいと思いますが、再度見解を伺います。

保健福祉部長答弁 制度の理解と協力が得られるよう、タクシー会社に働きかけたい。

(2) 現在、市内で分娩できるのは富田産婦人科医院だけとなり、先生は高齢です。将来を見据え産婦人科医師の招へい及び産婦人科医院開設支援について伺います。

保健福祉部長答弁 医療体制の整備は、県の役割で土浦保健所が土浦保健医療福祉協議会を設置して協議している。県の医療審議会でも県南地区の医師不足が課題になっている。県や医師会と連携し産科医の確保に努めたい。

再質問 産院の無い町に若い方が住みたいと思いませんか。茨城県は人口10万人の医師数が全国で下から2番目。県に頼っていて、いつ医師が配置されるのか。今こそ地域間競争に勝つオンラインワンの取り組みが必要である。あらゆるつてを頼り医師の招へいや産科医院の開設支援を行う検討に入るべきと考えますが、市長の見解を伺います。

市長答弁 市の医師会が、かつて市民医療懇談会を設置し医師不足を解消したことがある。今後、医師会と連携・協力して産科医の確保について積極的に取り組んでいきたい。

三. 300億円超の債務負担行為を可決

(1) 霞台厚生施設組合臨時議会

1月23日、霞台厚生施設組合の臨時議会に2議案が提出されました。

議案第1号は、新広域ごみ処理施設の建設費用191億2千680万円と20年間にわたる施設運営委託費用147億9千600万円からなり、今後、組合予算から合計339億2千280万円の支出を約束する債務負担行為（地方自治法第214条）の設定です。

議案第2号は、ごみ処理施設建設と運営委託業者を選定する委員会の役割を条例化するものです。

建設費用は国の交付金及び特別交付税の手厚い支援があり、構成市町の実質負担は約14億円弱となります。

運営委託は、3か所のゴミ処理施設を霞台1か所に集約し、施設稼働20年間で約70億円の経費削減を見込んでいます。私は賛成の立場から、財源内訳や対費用効果について議案質疑を行い、いずれの議案も共産党議員を除き、賛成多数で可決されました。

(2) 石岡市議会臨時議会

1月25日に石岡市議会臨時議会が開催され、石岡市が20年間にわたり霞台厚生施設組合へ支払う建設分及び施設運営委託分の負担金108億1千847万円（特別交付税分を含む）が債務負担行為として提案されました。国からの支援を除く石岡市の建設分負担金は、合併特例債の交付税措置を受けることで実質負担は約6億円まで減り、霞台議会同様に賛成多数で可決となりました。

建設分総額 191億2,680万円		対象外 27億円
交付金及び特別交付税対象経費 164億2,680万円		自己負担
循環型社会形成推進交付金(補助率1/3) 54億7,560万円	震災復興特別交付税 (総額-対象外-交付金)×95% 104億364万円	合併特例債交付税措置 18億2,553万円

(3) 今後の事業進捗について

新たな広域ごみ処理施設は、DBO方式（公設民営一括発注方式）を採用し、建設と運営委託を同一業者に一括発注します。これにより、業者自らら運営管理の行いやすい施設を建設することが可能となるメリットがあります。

入札は金額だけでなく施設の内容や実績も評価する、総合評価方式を採用します。2月上旬に入札公告、5月末に業者が入札提案書類提出、業者選定委員会による入札提案の審査が行われ、8月初旬に審査結果が公表され、施設建設と運営管理を行う業者が決定します。

9月の霞台議会に議案として、業者との仮契約が提案され、可決後に正式な契約締結となります。施設の竣工予定は平成33年3月末を予定していますが、震災復興特別交付税は平成33年3月末までの適用ですので、入札に関する日程が遅れが生じた場合、特別交付税の一部が受けられなくなる（1年の遅延で約20億円強の減額）ことが想定されるため、事業の進捗に注目してまいります。

四. 石岡駅前周辺整備事業について

(1) 事業概要について

平成18年の「石岡市第1次総合計画」に駅周辺整備を位置づけスタートしました。財政負担軽減のため国等からの支援を求めていたところ、平成23年度に国土交通省所管の「社会資本整備総合交付金」の活用が可能となり、一気に事業化が進みました。現在行っている工事は、西口駅前広場整備に関する工事で事業費は約6億7千万円です。

(2) 石岡駅前交番が移転

西口駅前広場整備では、駅前のバス停を無くし、タクシー乗り場を兼ねた駅前ロータリーを広げた

関係から、道路が直線から湾曲した形状に変わり、道路幅員も狭くなったと感じると思います。

市都市計画課の説明では、道路に曲線ができることで、車のスピードを抑制し安全性を高めたとのことです。

駅脇にあった駅前交番は、市民文化伝承館（山車展示ブース）隣に移転します。交番跡地を含む駅北側に一般車両の駐車・待機スペース（30分無料の機械駐車）を設け、送迎が安全にできるようになります。いずれも、平成28年度事業ですので、3月末完成を目指して急ピッチで工事が進んでおります。



五. 新庁舎建設の事業者が決定

昨年、8月の新庁舎建設工事の入札は、2業者が辞退し不調となり、設計変更となりました。12月20日に予定価格42億5千150万円（税抜）が再度告示。

入札参加申請を提出した2業者から提出された請負金額が2月7日に開札され、予定より半年遅れて請負業者が決定し仮契約となりました。

落札金額 41億5千万円（税抜）
契約金額 44億8千200万円（税込）

落札者 フジタ・平成建設特定建設工事共同企業体
工期 平成28年3月～平成30年10月末日
仮契約は、3月定例会に議案提案され、可決された後、本契約となります。

六. 議会を傍聴してみませんか

平成29年第1回定例会が2月21日に開会いたします。会議の開始時間は全て午前10時です。今期定例会は、開会日に市長の所信表明が行われ、平成29年度予算（事業）を全議員が出席して審議する予算特別委員会も開催されます。

予算特別委員会は、総務、経済建設消防、教育福祉環境の3委員会別に審議が行われ、課長級以上の職員が答弁のため出席し、新年度事業の内容について詳細な審議が行われます。

市民の皆様には、総額約5百億円を超える新年度予算審査を傍聴いただきたいと思えます。

なお、傍聴席では飲食・携帯電話の使用、私語の禁止などの約束がありますので、モラルを守っての議会傍聴にご協力をお願い申し上げます。

テレビ中継は、本会議（開会・一般質問・議案質疑・予算特別委員会・閉会）のみ放映しており、中継を見ることのできるテレビは、市役所本館ロビー、まちかど情報センター、八郷総合支所1階ロビーにあります。

着色してある会議は私が出席する会議です。

月 日	曜	会議内容
2月21日	火	開会・所信表明
22日～26日		休会
2月27日	月	一般質問
2月28日	火	一般質問
3月1日	水	一般質問
3月2日	木	議案質疑
3月3日	金	予算特別委員会
3月4日・5日		休会
3月6日	月	予算特別委員会
3月7日	火	予算特別委員会
3月8日	水	予算特別委員会
3月9日	木	教育福祉環境委員会
3月10日	金	総務委員会
11日・12日		休会
3月13日	月	経済建設消防委員会
3月14日	火	議会改革推進特別委員会
3月15日	水	議会運営委員会
3月16日	木	採決・討論・閉会

七. 石岡市消防出初式

消防団が新年最初に行う演習である出初式が行われました。

1月9日、厳しい寒さながら快晴に恵まれた早朝、市内各消防団が消防車で石岡小学校校庭に集合しました。ほかに婦人防火クラブ等関係者も石岡小学校校庭に集合し、点検官（石岡市長）及び県防災管理局長の点検を受けました。

この後、市民会館内に移動し、永年にわたり市民の生命と財産を守る活動に従事された団員に対して、永年勤続表彰が行われました。

続いて、駅前のお幸通りを交通規制し、マーチングバンド行進、団旗を先頭に消防団分列行進、消防車パレード等が行われました。また、消防レスキュー隊による救助模擬訓練が公開されました。沿道は、多くの家族連れや市民で賑わいました。



八. 石岡市成人式典

石岡市の成人式典が1月10日、市民会館で開催されました。今年の新成人は760名。女性は和服、男性はスーツに交じって、羽織袴で出席。

久しぶりに同級生に会い、会場のあちらこちらで会話が弾んでいるようで、来賓祝辞の間は、ざわざわ。祝辞を聞いていないかと思いきや、桜井県議が「近年は美人が多い」と言った途端、大きな拍手が沸き上がり、それなりに話を聞いていることがわかりました。

新成人意見発表では、各中学校それぞれ代表1名が登壇し、両親への感謝等、気持ちのこもった発言があり、新成人謝辞へと続き、いずれも大きな拍手が起きました。

他市では成人式で逮捕者のニュースもありましたが、石岡市は新成人の実行委員会がしっかりと役割を果たし、穏やかに式典を終えました。



九. 議員活動報告について

私の活動報告は、議会・議員の活動や市政の様子を中心に記事をまとめていきます。拙い文章で恐縮ですが、ご一読いただければ幸いです。お気づきの点など有りましたらご意見をお寄せください。配布を希望されない場合も遠慮なくご連絡願います。お手紙、電話・FAX・メールを問いません。